まちの話題

四種目に大会新記録が生まれる―市青年体育大会

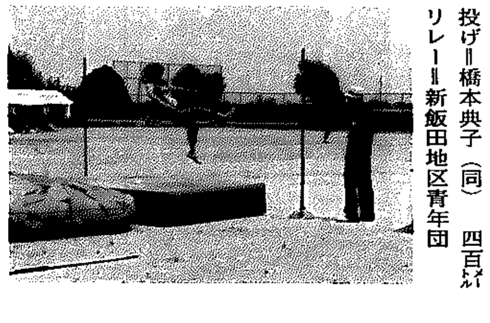
市青年体育大会（陸上競技）が、七月十二日大鷲中学校グラウンドで行われました。男子百㍍、女子八百㍍、同三種目競技、同走り高跳びの四種目に大会新記録が生まれるなど、各種目に好記録が続出しました。

成績は次のとおり（一位のみ）

総合成績＝新飯田地区青年団

【男子】 総合＝新飯田地区青年団　百㍍・二百㍍＝岡村譲志（鷲巻）　四百㍍・千五百㍍＝田中　厚（同）　五千㍍＝小林利行（茨曽根）　一万㍍＝小池一浩（同）　三種目競技＝阿部和広（鷲巻）　走り高跳び＝高橋康男（同）　走り幅跳び・三段跳び＝長崎吉男（茨曽根）　砲丸投げ＝細野三樹夫（新飯田）　八百㍍リレー・千六百㍍リレー＝鷲巻地区青年団

【女子】 総合＝新飯田地区青年団　百㍍・二百㍍＝本名直子（新飯田）　八百㍍＝田中智子（鷲巻）　三種目競技・走り高跳び＝金子内子（新飯田）　走り幅跳び＝小杉栄子（同）　砲丸投げ＝橋本典子（同）　四百㍍リレー＝新飯田地区青年団



150人が出場　市民バドミントン大会

市民バドミントン大会が、七月十九日白根高校で開かれ成績は次のとおりです。（一位のみ）

男子シングルA＝熊倉正志（市バドミントン連盟）　同ダブルスA＝野川彰夫・池田豊一組（同）　同シングルB＝星　富雄（白根高校）　同ダブルスB＝金内誠一・小湊美和子組（市役所）　女子シングルA＝仲野美矢子（第一中学校）　同ダブルスA＝山口陽子・山口　恵組（同）　同シングルB＝永田聖子（鳥屋野中学校）　同ダブルスB＝永田聖子・市川喜代美組（同）

中央公民館長　橘　馨氏ご逝去

中央公民館長の橘　馨氏（65歳・根岸）は、7月9日午後10時30分、病気のためご逝去されました。

同氏は、54年4月から中央公民館長を勤めてこられました。ご冥福をお祈りします。

三千五百羽のカモを飼育　犬帰新田の吉原さん

市内に、カモをたくさん飼育している人がいます。この人は、犬帰新田の吉原未男さん（五十三歳）で、水田利用再編対策などの関係で三年前から食用ガモの飼育をはじめました。

飼育をはじめたころは、ふ化率（卵からヒナにかえる）が二～三割くらいしかなく、卵を割ってみるなど、いろいろ研究を重ねたそうです。その研究の成果がみのり、今年は七割のふ化率になり、秋には約三千羽のカモを出荷できるとのことです。

「これからは、一年中出荷できるようにしたい」と、吉原さんは話しています。

中国の農業技術者　八人が市内で研修

「日本の農業土木技術を研修したい」と、中国から揚振懐さんら八人が、七月八・九日の二日間、当市を訪れました。

一行は、農業地帯にある工場の排水処理施設、水田のほ場整備、畑転換試験田などを熱心に視察していました。

学校めぐり

創立3年目の若い学校です

大通小学校

今回から「学校めぐり」コーナーを設け、毎月、市内の小・中学校を一校ずつ紹介していきます。

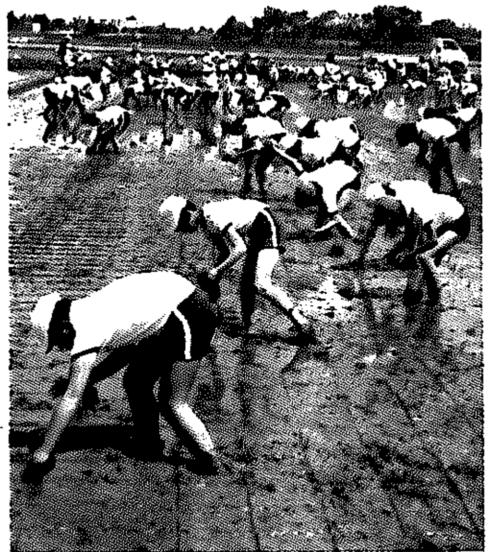
大通小学校（中林一朗校長）は、黒埼町への教育委託の解消と、宅地開発による人口増加に対応して、五十四年四月に開校した学校です。

現在、児童数百三十二名、職員数十一名でがっちり手をとりあってがんばっています。

今年度の教育目標は、**明るくたくましい子供づくり**に置かれ、その目標実現に向けいろいろな教育指導が行われています。

この学校の行事で特色のあるのが、九月に行われる「大通まつり」です。児童と先生が一緒になって創立を喜び合おうと、昨年からはじめたもので、企画と運営は児童会が中心になって行います。昨年は、児童会で印刷したお札でのショッピングやものまねチャンピォン大会などで、楽しい催しになったそうです。「今年はどういう企画になるか、今から楽しみです」と中林校長は話しています。

このほか、「全校田植え」「もちつき大会」（学校田で収穫した米で）「イラストコンクール」なども行っています。これらの盛りだくさんの行事の中に、学区民との交流の場を設け、新しい伝統づくりが行われています。



5月に行われた「全校田植え」

市史よもやま話

関根中使（ちゅうし）

戦国末、景勝の断片書状とともに、現在の白根市で最古の文書（写）が茨曽根の関根家にある。

また、ほぼ同文（写）が神林村の板垣家にもある。両者を校合し、一部を紹介する。

要するに、小吉東島の税金としておよそ六九〇石相当の金銭を受領し、中使（村長）裁断を認めた文書。史的解明は今後に。

納蒲原郡内小吉東島①
御年貢請取事
合六拾八貫六拾文者②
右去年分為御皆納三人③中使④執沙汰仍如件
元亀弐年⑤辛未三月四日
秀家⑥　花押
居判

①坂垣家、天正六年「納蒲原郡小吉条東島御年貢請取事」が、「温古の栞」の伝承「小吉東島の条」がある。現在の市域にほぼ同じ。ここでは茨曽根とその周辺と解しておく。

②いわゆる貫高制。一貫およそ十石とすると六九〇石ほど。

③坂垣家文書には三人の文字がない。中使と解しておく。

④文化四年「関根仲（ちゅう）い碑」に、「上杉氏の時、十世祖の三左衛門、蒲原郡茨曽根に居り、かつて転輪糧草（てんわりょうそう）の職に与（くみ）す。当時の有司の文書、具（つぶさ）に存す」とあり、被官の性格をもっていたという。中使は肝煎（きもいり）さらに名主にかわる。

⑤西暦一五七一年。

⑥別の関根・坂垣家の天正六年の同様文書には「蔵田秀家」とある。公的身分は未解明だが、三条島城の家臣か。

右によって次のように仮定できるのではあるまいか。

謙信の領国経営での支城、三条島城主の被官のような関根中使は茨曽根とその周辺の草高千石程の土地人民を治め、小吉東島経営の一部を荷っていたと。

戦国大名の常ではあるが、強圧的な富国強兵策のもとで、当地農民は年貢、夫役などの重税にあえいでいたことは確実。くわしくは次回に。

園芸コーナー

先月号の園芸コーナーいかがでしたか。このコーナーは、みなさんからの要望に応えて設けたものです。家庭で簡単にできる、園芸いろはを紹介していきます。

菜園二題

八月まきで、重宝な野菜二つを紹介します。

【サヤインゲン】 八月上旬にまくと、涼しい季節に向かうので、九月下旬から十一月の霜の降りるまで収穫が楽しめます。

普通幅のウネでは一列、広いウネは二列にし、二十五センチ㍍くらい離して、二粒ずつ種をまきます。

品種は、キーストンカスケードやサンライズなど手なしの方が、支柱もいらず手軽です。十センチ㍍くらいのみずみずしいうちに収穫するので、屋敷近くで風の当たらない菜園に作るのがよいでしょう。

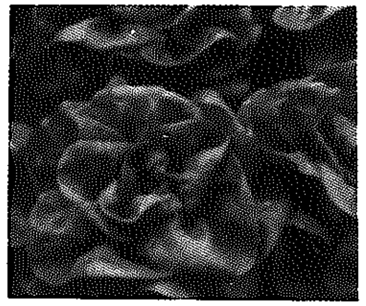
【サラダナ】 新鮮な生野菜として、小さなときから利用できるサラダナは、ぜひ一ウネほしいものです。

お盆が過ぎて、ひと雨降ってからまくと、よく発芽します。ホウレン草のように、ばらまきにして育てる方法もありますが、一回植えかえる方が、除草の手間がはぶけます。

厚めにまいておき、本葉が二～三枚になったら、十分肥料をやったウネに植え変えてやります。混ませて植えたところは早穫り、また、広めに植えたところは大株にして収穫します。

生で食べる野菜は、なるべく農薬を使わずに、また、ヨトウムシやネキリムシもこまめに手で退治してください。（白根農業改良普及所・井沢文也）

サヤインゲン



サラダナ

市民文芸

俳句

紫陽花に雨が重たく降る夕べ　石田　豊一
見る程の庭はなくとも夕涼み　石田　豊実
朝露にぬれて胡瓜の青さもぐ　田中　昭一
郭公の声せかせかと緑増す　坪川桐太郎
更衣少し気になる腰廻り　真保　清三
新緑やたくみな話術バス旅行　中山　義英
夕立に駆けこむ猫を怒る祖父　桑原　平一
一人身の団扇片手に朝は来ね　佐藤勇一郎
梅雨に濡れ草刈る農婦（ひと）の手もゆるみ　佐野たけ子
限りなく吸うて青葉の息を吐く　須戸　義夫

川柳

他人には見えない星が月から飛び　長井　徳市
下降線たどる視線に覇気が無い　今井　七郎
コップ酒孤独な夜のひとり言　吉川　末吉
星流れ孫の手を引き星の歌　成田　吉子
福祉より軍靴の音が良く響き　後藤マサノ
地球儀を回し明日の旅の顔　山岡　フミ
貫禄が余裕を見せる深い椅子　吉川　彰
地球儀をゆっくりまわせば日本あり　大井　義雄
一姫二太郎次は何でも良いと言い　中村　尚治
余裕ある顔して火の車を回す　高橋祐四雄
北極を上にして説く国防論　岡村　清

窓口案内⑤

戸籍・除籍の謄抄本の請求

市内に本籍のある人または、以前に本籍のあった人が、戸籍及び除籍の謄本・抄本・証明書を請求するときは、市役所窓口で申請してください。

□**請求者**　請求者には多少の制限がありますので、なるべく本人が申請してください。

□**請求地**　本籍のある市町村役場（郵便での請求もできますが、この場合は請求されてから一週間ぐらいかかります）

□**持参するもの**　請求者の印かん、手数料（一件につき戸籍二百円、除籍三百円、証明書百円）

詳しくは市民生活課窓口係（☎(73)二一一一(内)二〇二）へ。